

郡山女子大学大学院 人間生活学研究科 学位論文等評価基準

郡山女子大学大学院は、人間生活学の理論及び応用を教授研究し、生活者の安定と福祉の実現を図るとともに、本学建学の精神による人間性の高揚を図り、生活学の深奥をきわめ、広く文化の進展に寄与することを目的としていることから、学位論文においてはこの目的に相応していることが課せられる。

【修士論文】

下記評価基準のすべてについて、修士学位論文としての水準に達していると認められたものを合格とする。

1. 研究の目的、問題意識及び研究テーマが明確であり、適切な論文タイトルがつけられているか。
2. 文章表現、図表、引用文献、補足資料などが適切であり、体裁が整えられているか。
3. 研究テーマに関連する先行研究のレビューが適切に行われているか。
4. 実施した研究方法が適正であり、必要な倫理的配慮がなされているか。
5. 結果について深く分析・考察され、首尾一貫した論理構成の下、適切な結論が導き出されているか。
6. 関連研究等に関する文献の引用方法は適正であるか。
7. 研究の成果は、新規性・独創性・有効性を有しているか。

【博士論文】

下記評価基準のすべてについて、博士学位論文としての水準に達していると認められたものを合格とする。

1. 研究の目的、問題意識及び研究テーマが明確であり、適切な論文タイトルがつけられているか。
2. 文章表現、図表、引用文献、補足資料などが適切であり、体裁が整えられているか。
3. 研究テーマに関連する先行研究のレビューが適切に行われているか。
4. 実施した研究方法が適正であり、必要な倫理的配慮がなされているか。
5. 結果について深く分析・考察され、首尾一貫した論理構成の下、適切な結論が導き出されているか。
6. 関連研究等に関する文献の引用方法は適正であるか。
7. 研究の成果は、新規性・独創性・有効性を有しているか。
8. 当該研究は家政学分野の発展に寄与する学術的価値を有しているか。